

医療機関	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
病院情報システムを構成する主要ベンダー名	α社	α社	α社	α社	α社	β社	β社	β社	β社	γ社
現行システム導入時期	2015	2015	2016	2017	2019	2015	2018	2018	2019	2016
更新予定時期	2021	2022	2022	2023	未定	2022	2025	2023~2024	2026	2022
対応済み項目の数	53	50	55	50	55	45	51	57	58	60

1. システム・端末整備など

(a) ハード面の整備

項目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
I. データ保存の二重化	① ハードディスクの二重化(ミラーリング等を含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	② ハードディスク以外の外部メディアにも保存	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③ 遠隔地での保存	○	○	○	○	○	○	○	○	○
II. ネットワーク(サーバからクライアントまで)の整備	① 基幹ネットワークの冗長化	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	② ループ対策	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③ サーバ管理によるセキュリティソフトの導入・最新化のチェックなど	○	○	○	○	○	○	○	○	○
III. 電源系統の二重化(以下のいずれかのレベル)	① 自家発電機の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	② 無停電電源装置からの電源供給	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IV. 診療情報端末等について	① 現場の要望に対し必要数が確保されているか	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	② ノートPCのバッテリー交換手順(交換基準など)の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③ 端末管理台帳等の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. システム運営・マスタ管理・研修など

(b) システム管理・運営/研修組織体制の整備

項目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
① 基幹システム・サーバ/バッチ(ハードウェア、ソフトウェア)における保守契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 医療安全管理部門と情報システム部門の連携体制の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 医療事故防止(安全管理)マニュアルへの情報システムに関する記載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 情報システム操作マニュアルの整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤ システム障害時対応マニュアルの整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥ システム障害事後処理手順マニュアルの整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦ 大規模災害時情報システム対応マニュアルの整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧ 職種別・資格別などの適切なシステム権限の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑨ 適切なパスワード設定の管理(文字数・有効期限の設定など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑩ 患者カルテへのアクセスログ管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑪ 定期的システム監査体制の整備(内部監査・外部監査など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑫ 入職者全員が受講できる研修教育体制の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*D1 (図に準じた対応になります)

(c) マスタ管理体制

① 基幹システムのマスタ管理体制の明確化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 部門システムのマスタ管理体制の明確化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 基幹-部門のマスタ連携の確立	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3. 認証・ダブルチェック・承認システムなど

(d) 入院患者を対象としたネームバンド・バーコード等による認証の導入

① 内服薬 与薬時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 注射・点滴 実施時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 輸血 実施時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 観血的処置 実施時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤ 放射線・生体検査時の患者確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥ 手術室入室時の患者確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*C1 ネームバンドを用いた目標による患者認証で、バーコード認証までは実施せず。
*D2 バスに含まれるオーダーの承認はありますが、クリニカルパス自体の承認機能はありません。

当院では検体検査に際して患者のリストバンドと検体スピッツに貼られたバーコードを用いてバーコード照合も行っています。

(e) 初期研修医のオーダーに対する指導医等による承認機能の導入

① 内服処方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 注射・点滴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 輸血	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 観血的処置・処置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤ クリニカルパス適用 承認または指導医確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥ 化学療法レジメン適用 承認または指導医確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*C2 クリニカルパスに対する承認機能はないが、中に含まれるオーダーに対する承認機能はある。
*C3 指導医制限
*D3 バスに含まれるオーダーの承認はありますが、クリニカルパス自体の承認機能はありません。
*D4 バスと同じレジメン自体の承認機能はありません。

当院での研修医の運用では、システム的に全て事後承認になっております。抗感染剤などハイリスクのものは、すべて、指導医とともに行う事になっており、単独でのオーダー等は禁止しております。

化学療法レジメンオーダーは、レジメンシステム研修を受講した3年目以上の医師にのみ権限付与しており、初期研修医にはオーダー権限は与えていません。

4. 薬剤関連・処方・アレルギー連携など

(f) 薬剤関連・処方システムなど

① 内服薬1回量処方(1日量処方併記を含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 標準用法マスタの採用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ ハイリスク薬の設定およびシステム支援による管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 過剰投与のチェック/アラート機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤ 投与禁忌のチェック/アラート機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥ 製剤量・成分量処方への対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦ 適応外処方のチェック/アラート機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧ 相互作用・相互禁忌薬のチェック/アラート機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑨ 複数診療科からの同効薬処方のチェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑩ 類似名薬の処方に対する対策(3文字入力など)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑪ 薬剤アレルギー記載と薬剤オーダーとの連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*C4 1日量入力の1回量処方併記となります。
*D5 同一薬処方のチェックはありますが、同効薬チェックはありません。

(g) 基幹システム上の各種アレルギー情報の部門システムへの伝達

① 薬剤部門との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 放射線部門との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 内服薬検査(光学診断)部門との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 栄養管理部門(給食)との連携	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*C5 システム間連携が、その他のシステム(機器)・機能の導入の2-2に記載した、アラート突破した薬剤について薬剤部門システムに連携する形となります。

5. 安全機能の追加など

(h) その他のシステム(機器)・機能の導入

① 患者の二重登録のチェック確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 電子クリニカルパスの導入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 化学療法レジメン管理システムの導入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 検査結果異常値の主治医(オーダー医)への通知機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤ 病室・治療室レポートの主治医(オーダー医)承認機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥ MR1検査時インプラント等検出メッセージ機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦ 輸血オーダー時の血液型チェック機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧ 血液型の管理機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑨ 血球血液型・血液血液型のチェック機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑩ 輸血・生物製剤のトレーサビリティの確保	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑪ 輸血後の感染源調査管理機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑫ インスリンスライディングスケールのフェードアウト機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑬ B型肝炎と抗がん剤併用による肝臓再活性化リスク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑭ 医療安全管理部支援(インシデント/クラッシュ報告機能と分析機能、エラーシフト)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*C6 注射のみ実装(内服は未対応)
*C7 オーダー時にチェックリストを印刷(MRI禁忌チェックは別途あり)

*D6 体内金属が登録されている場合は一律、「体内金属がある為、患者への確認を促すメッセージ」が表示されます。そもそもオーダー時に、その患者の体内金属有無のデータに関わらず、患者へ確認を促すメッセージを表示するという意味であれば、機能自体はあるものの、放射線科にてマスタ設定はされていないようです。

手術室の用中検査管理システム・麻酔の搬送管理システム・バイタルの自動登録システム・重症対応電子カルテシステムなど間接的に医療安全に役立つと思われるものが思いつきましたが、實際的なものではないので、記載は避けました。

*D7 輸血部および薬剤部において管理しており、オーダーシステム及び電子カルテシステムには、その機能はありません。